



CHIBA-HIGASHI ROTARY CLUB

Weekly Report

地区テーマ 原点回帰を目指して

国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン
2790 地区ガバナー 宇佐見 透
第3分区 Aガバナー補佐 森島 弘道

千葉東ロータリークラブ 第1045回例会 2015.1.19

会長 辻 修
幹事 吉田 朋令

本日のお客様

| | |
|------------------|---------|
| 米山奨学生 | 許 一 様 |
| 2790 地区米山記念奨学委員長 | |
| 市川南 R C | 石田 善一 様 |
| 船橋西 R C | 相川 信善 様 |

会長挨拶

辻 修 会長



みなさん、こんばんは

本日は米山奨学生の許(キヨ)さんにゲスト卓話をしていただきます。

米山記念奨学事業は、日本最初の東京ロータリークラブの創立に貢献した実業家の米山海吉氏の功績を記念して発足しています。東京ロータリークラブが海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想は、戦後2度と戦争の悲劇を繰り返さないよう、国際親善と世界平和に寄与したいというロータリアン達の強い願望で設立されました。わずか5年で日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され、年間約700人の奨学生を受け入れ、事業規模、採用数とも日本国内では民間最大の奨学団体です。

静岡に(三島)には米山梅吉記念館があり、当クラブでは、数年前に訪問させていただいています。

許さんの卓話を楽しみにしています。本日も宜しくお願い致します。

今月のお祝い

7月誕生日祝



鷹谷 会員



村上 会員

7月結婚記念日祝



藤本会員

幹 事 報 告

鳴海 寿裕 直前幹事



- ◆ 台湾五福RCから新年のお祝いメッセージが届いております。
- ◆ 2月9日の職業奉仕日産自動車追浜工場への移動例会まだ人数が足りません。横浜でおいしい中華料理もありますので是非ご参加ください。
- ◆ 3月9日は分区の親睦ボウリング大会です。振替例会となりますのでボウリング参加しない方も懇親化だけは参加してください。

お 客 様 挨 拶

地区米山記念奨学会 委員長 石田 善一 様



彼女は中国上海出身で現在千葉大学工学部で修士課程で学ばれております。今日は超電導のお話になるかと思いますが、ゆっくりと聞いてください。よろしく願いいたします。

ゲ ス ト 卓 話

米山記念奨学生 許 一 様



私は千葉港ロータリークラブの奨学生許一です。今年の1月に米山記念奨学金の奨学生に選ばれて心から嬉しく思っていました。今日は卓話のチャンスを利用して、ぜひ皆様に私のことを知っていただきたいと思います。

私は中国で高校を卒業して、2008年に来日し、日本語学校に2年通いました。その後、千葉大学工学部の都市環境システム学科に入って、3年間幅広く勉強しました。4年生の時から理化学研究所に入って研究を始めました。今は修士1年生として研究を続けています。研究のテーマは高温超伝導線材を用いた超高磁場、コンパクト NMR 磁石の開発です。私たちの研究チームは他のどこもやってない研究をして、一番に世界に発信することを常に目指しています。でも正直に言って、私は最先端の超伝導技術を習いたくて日本に来たわけではありませんでした。私の父親は若い頃日本での留学経験があるため、よく私に日本のことを教えてくれました。まだ小さい私の頭の中に日本は発達している国で、日本人はマナーがとても良いというイメージがありまして、いつか日本に行ってみたい、住んでみたいと考えていました。高校を卒業して、日本へ留学することを決めましたが、当時の自分にははっきりとした夢なんか持っていませんでした。いち早く日本語が上達できて、アルバイトを見つけることしか考えていませんでした。でも日本に対する理解が日々深くなっていくにつれて、自分がやりたいことを見つけられました。それはどういうことかということ、日本の弱みとえば、資源不足が一番だと私は思っていました。でも、日本は省エネ技術の研究に大きな力を入れて、家庭、オフィス、工場などできる範囲から取り組んでい

て、社会の隅から隅までエコの概念をつらぬいているのを見て、本当に素晴らしいと思いました。それがきっかけとなって、私はぜひ省エネ技術を学ぼうと思い始めました。今私が研究している超伝導は臨界温度まで下がると電気抵抗がゼロになるため、長距離の送電でもロスがゼロになります。(金属低温超伝導の臨界温度：-263~-234 度、-269 度液体ヘリウムで冷やして利用；銅酸化物高温超伝導の臨界温度：-181~-163 度、-196 度液体窒素で冷やして利用できる) 現在、超伝導は電力・エネルギー分野、交通輸送分野や医療分野などの多様な分野での応用が期待されています。身近な応用例だと、リニアモーターカーや人の臓器、血管の撮影ができる MRI を挙げられます。私の研究は卒業するためのものに限らず、近い将来のもっと豊かな社会作りに緊密に関連している研究だと考えています。そう考えるとどんな大変な作業をしても、私はくじけることはありません。現在、超伝導の研究はアメリカと日本を中心に盛んです。私はしばらく日本でもっと超伝導の知識を身につけて、修士課程を修了したらできれば超伝導に関係のある仕事に就きたいと思っています。

私は米山ロータリー記念奨学金の奨学生になって半年以上経ちました。短い間ですが、ロータリアンからたくさんのことを教わって、そして自分は確実に変化したように感じます。今年 5 月の日曜日に私は初めてロータリアンたちと一緒にゴミ拾いをしました。その中に自分の子供や会社の新入社員を連れてきたロータリアンが多数いました。また、私たちの姿を見て一緒にゴミを拾ってくださった市民もいました。ロータリアンたちは社会奉仕の精神を自分たちの行動で子供たち、若者そして奨学生である私に教えてくれました。私のカウンセラーは仕事の関係で今年ラオスへの出張が増えました。貧しい生活をしているラオスの人たちを見て、何か自分がやることがないかと考えて、ロータリークラブのみんなと一緒にラオスの小学校へ新しい机と椅子を寄贈しに行ってきました。例会でカウンセラーに新しい椅子に座っている子供たちが寄贈式で撮った写真を見せてもらいました。私は写真から子供たちの一番純粋な笑顔を見ることができました。子供たちの笑顔から、机と椅子のある教室で勉強でき

るのはどんなに幸せなことなのかを感じ取れました。ロータリアンたちは私に国際貢献の精神を見せてくれたのです。毎月一回ロータリークラブ例会に参加することによって、私はロータリー精神に対する理解がどんどん深くなってきました。奨学生になる前の私なら、自分のことしか考えられなかったことに対して、今の私は自分の力で周りの人たちに何かできることがあるかどうかを常に考えています。これは私がロータリアンたちから学んだことです。4つのテストにあるように自分のためではなくて、「みんなのためになるかどうか」を先に考えてから行動に移ります。千葉港クラブのロータリアンたちは私を一人の中国からの留学生ではなく、自分の子供、孫のように接してくれています。毎月の例会でいつも私の生活、勉強の状況を親切に聞いてくれています。ロータリアンたちからたくさんの温かい言葉をいただいている私はどんどん成長してきました。今の私は自分の時間を惜しむことなく、知り合いにしる、赤の他人にしる、喜ばせることなら出来る限りやります。これも私が理解したロータリー精神です。1年半後社会人になったら、私は自分がいる職場、自分がいる社会に何かできることがあるかどうかを思いながら行動していきたいと考えています。こうすることによって、この私の思いはきっとその場にいる人々に伝わると思います。それは今ロータリアンが私に影響を与えてくださっていることと同じことです。10月に私は他の奨学生、カウンセラーそして地区委員の皆様と一緒にロータリー米山記念奨学研修旅行に行き、米山梅吉記念館を訪ねてきました。そこで私は初めて国際ロータリーの思想を日本に導入した米山梅吉氏の話を知ることができました。そして、生涯を通じて国際奉仕、社会奉仕の道をつらぬいた米山梅吉氏の生き方に大きく感動しました。米山梅吉記念館の見学の最後に、みんな手を繋いで、大きな輪を作って一つのゲームをやりました。自分の右手をあげると言われて、その通りに右にいる人の左手を繋いであげた同時に、自分の左手も思わずに左にいる人にあげてもらっていたのです。このゲームから、私は人に支えている自分も同時に他の人に支えられていることが分かりました。支え合う人々がいるから暖かい社会、さらに平和な世界が

成り立ちます。両親から離れて、一人日本で留学している私はロータリアンたちからの奨学金があるからこそ、自分がやりたい研究に専念できています。皆様への感謝の気持ちをずっとずっと抱いて将来国に戻りたいです。国に戻ってから、もっと多くの人たちにロータリークラブを知ってもらって、ロータリーの精神を理解してもらいたい。私の留学先に、社会貢献という共通の関心の下にお互いに友情を深め、自分の時間、才能、資金を注いで活動する素晴らしいグループがあることを自慢げに国にいる友たちに紹介したいです。また、何よりも私は自分の母国にもロータリークラブがあってほしいと思っています。一人の力では何もできないかもしれませんが、同じ信念を持っている人たちが集まるとやれることがベキ乗で増えていくはずと私は信じています。

今日皆様の前で卓話ができました心から感謝します。ご清聴ありがとうございました。



佐野会員

昨日のワンダラー会でドラコン賞を頂きました。飛ばなくなったと言われて久しいのですが、一年に一度のバカ当たりで、まだまだやれるぞ。

辻 会長

米山奨学生の許様、卓話をありがとうございました。

藤本会員

結婚祝いありがとうございました。

計 10,000 円

累計 535,000円

創立：1991年1月21日

認証：1991年3月6日

例会場：ホテルニューオータニ幕張

点鐘：毎月曜日 18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川 3-5-27 上総ビル 303

TEL：043(251)2790 FAX043(251)2726

Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp

URL：http://www.chiba-higashi.jp/

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 市原親一